

紀 伊 民 報



工夫を凝らしたロボットを操作し、競技に臨む出場者
(田辺市あけぼのの)

全日本小中学生ロボット選手権の田辺西牟婁地区予選会が26日、田辺市あけぼのの田辺工業高校で開かれた。優勝した田辺東部小4年の廣畑匡規君と新庄中3年の谷口哲史君らが、12月15日に御坊市である決勝大会への出場を決めた。

実行委員会主催。出場者は講習を受けており、県内6市夏休みにロボットの組み立て講習を受けており、県内6市

廣畑君(小) 谷口君(中) が優勝

田辺ロボット選手権地区予選

ロックの上位入賞者が決勝大会に進み、公募で集まった全国の小中学生を交えて競技をする。

田辺工業高校での予選会には小学生の部20台、中学生の部4台が参加した。小学生はスロープからボールを転がしてキングに見立てたペットボトルを倒す速さを、中学生は相手コートにあるVゴール籠にボールを入れる速さを競った。それぞれ講習会で組み立てたロボットのキットや部品に手を加えて参加し、慎重にリモコンを操作した。

小学生の部では優勝者のほか、2位の阿久根一紀君(朝来小4年)と3位の山本龍輝君(同)も決勝大会への出場権を得た。デザイン賞は中川昂星君(会津小4年)だった。中学生の部は優勝者のみ決勝大会へ進む。2位は平佑真君(新庄中3年)、3位は中川大地君(高雄中3年)と中川太陽君(高雄中1年)、技術賞には中川大地君が選ばれた。

